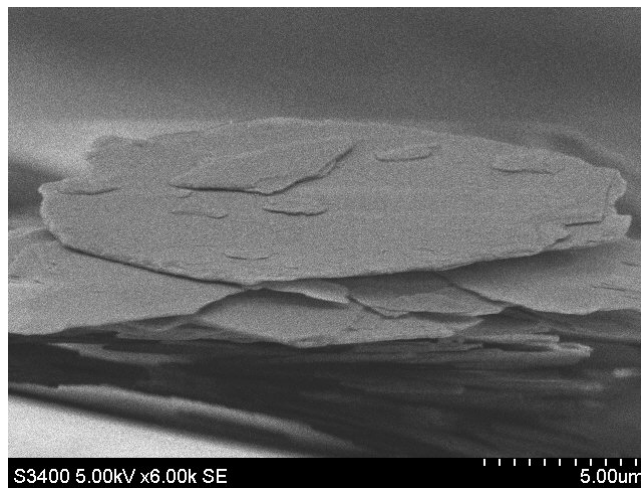


2020 年度 CSR レポート

対象期間:2020 年 4 月～2021 年 3 月



マイカパウダーSEM 写真(平均 20 μm 品)



株式会社ヤマグチマイカ

2021 年 5 月 24 日
CSR 委員会作成

1. トップメッセージ

ヤマグチマイカは、2021年4月で創立70年を迎えました。創立当初から、マイカパウダーをどのような市場分野で有効活用できるかを考え、お客様とともに、お客様の製品価値を高めるための開発、品質とサービスの向上に努めてきました。常に順風満帆とは言えませんでした。が、当社の理念と製品が皆様に認められたおかげで、少しずつ会社が成長でき現在まで長く継続していることには感謝しかありません。

時代は変化し、今では社会的責任をどう果たしているかで企業価値が問われます。性能や品質が良い製品、良いサービスを提供できるだけでなく、SDGsの実現に向けた我々の企業活動が評価されて、お客様が当社とのビジネスを選択されるようになりました。特にマイカ関連企業に対しまして、最近、原料調達国や地域の労働環境問題が取り上げられることが増えましたので、少しお話をさせていただきます。

ヤマグチマイカは、原料となるマイカ鉱石をインドから調達しています。インドは、他国と比較して良質なマイカが採掘されるため、当社が高い品質を実現できる理由のひとつはインドの原料を使用することと考えます。しかし数年前より、インドでのマイカ採掘における児童労働が、社会問題としてクローズアップされてきました。当社は、我々自身や第三者機関による現地サプライヤーの労働環境の監査を実施して、児童労働に関与しない原料調達に取り組んでいます。さらに国際的な人権NGO団体に加盟し、インドのマイカ採掘地域全体の労働環境の改善にも協力しており、マイカのCSR調達におけるリーディングカンパニーのひとつであると自負しております。

一方で、Responsible Business Alliance (RBA: CSRに取り組む世界最大の業界連合)によって設立された Responsible Minerals Initiative (RMI: 責任ある鉱物イニシアチブ)は、紛争鉱物(3TG)とコバルトに加えて、マイカを対象にした報告テンプレートを2020年に公開し、2021年3月には「マイカ加工業者のグローバル労働環境基準」をリリースしました。今後、RBAに加盟する電子機器、自動車メーカー各社は、その上流の幅広い部品メーカーや素材メーカーへ、マイカのトレーサビリティ調査やグローバル基準での監査を求めることになるでしょう。

2021年度は、当社も含めたマイカ関連企業にとって「責任あるマイカ原料調達」が益々注目されると思われます。ヤマグチマイカは、お客様から信頼と安心を得られますよう、従来から取り組んでいる当社CSR活動の実績や今後の方針をしっかりと説明しアピールいたします。またサプライチェーン、NGO団体および加盟各社の皆様と協力して、マイカ業界全体の持続的な発展を目指します。

株式会社ヤマグチマイカ 代表取締役

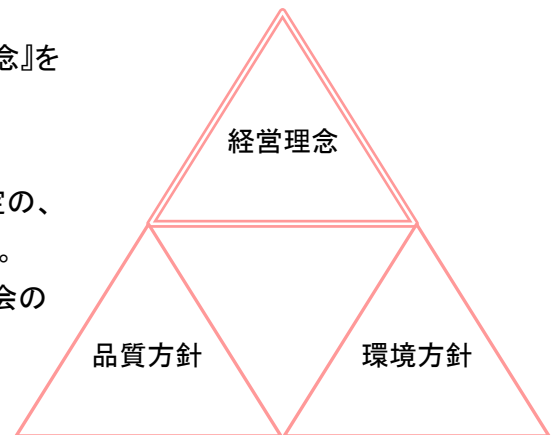
山口卓己



2. 経営理念、品質方針、環境方針

ヤマグチマイカは、会社の存在意義の根本である『経営理念』を掲げて、その下に「品質方針」、「環境方針」を定めています。

これらの理念と方針は、当社の事業計画の策定、目標設定の、考え方の拠りどころとなり、具体的な活動に落とし込まれます。そして経営トップ、各部署、各従業員のベクトルを合わせ、社会の繁栄と発展、持続可能な社会の実現に取り組みます。



経営理念

1. ヤマグチマイカはマイカを主体とした粉体の製造販売を通じて、
社会の繁栄と発展に貢献する
2. その活動において、社会の規律を遵守し、
人権尊重、地球環境保全に努め、社会の模範となる
3. 会社の発展と共に顧客、業者、社員の相互繁栄を目指す

品質方針

- (1) 常に変化するユーザーニーズに合った商品をアピールし提供する
- (2) ユーザーに「信頼」と「感動」を与えられる独自商品を開発する
- (3) ユーザーが求める品質、価格、納期、サービスを提供できる体制に改善し続ける

環境方針

- (1) 環境関連の法規制、協定、当社が同意するその他要求事項
及び当社の自主規制を遵守する
- (2) 当社の企業活動が環境に与える影響を考え、
環境への負荷低減を図り、地球環境保全に努める
- (3) 目的、目標、計画を定めて、規制対応や環境汚染防止、
省エネルギー、省資源、リサイクルなどを継続的に推進する

3. 会社概要

会社名	株式会社ヤマグチマイカ
所在地	本社： 愛知県豊川市 豊橋工場： 愛知県豊橋市 新城工場： 愛知県新城市 (協力工場： インド アンドラプラデシュ州)
創業(設立)	1951年4月(法人設立1960年8月)
資本金	4,760万円
年商	10.5億円(2020年9月決算実績)
業種分類	窯業・土石製品製造業
事業内容	マイカその他無機鉱物の粉体製造、および粉体加工処理
生産品目	湿式粉碎マイカパウダー、乾式粉碎マイカパウダー、 湿式粉碎タルクパウダー、フोटクロミック顔料、 各種粉体処理(表面処理、熱処理、マイカ造粒など)
従業員数	66名(うち派遣社員5名、2021年4月)
生産量	湿式粉碎:2,500t/年、乾式粉碎:1,000t/年
主な販売市場	プラスチック、化粧品、塗料、ゴム、陶器

本社(1954年、旧 小坂井町)



本社(現在、豊川市)
敷地面積: 約 5,000 m²



豊橋工場
敷地面積: 約 5,000 m²



新城工場(2018年9月稼働)
敷地面積: 約 27,000 m²

4. 沿革

1951	愛知県豊橋市で創業、マイカパウダーの生産を開始
1954	愛知県宝飯郡小坂井町(現在の豊川市)に移転
1960	「株式会社山口雲母工業所」設立
1978	化粧品向けに採用(製品の品質向上、多品種生産が進む)
1988	豊橋工場新設
2003	豊橋第二工場新設
2004	ISO9001 認証取得(LRQA、2017年に2015版に更新)
2005	インド協力工場にて湿式粉碎品の生産開始
2009	インド協力工場にて乾式粉碎品の生産開始
2010	「株式会社ヤマグチマイカ」に社名変更
2016	CSR 経営宣言(CSR 委員会設置)、国連グローバルコンパクト加盟
2018	新城工場新設、生産開始
2019	豊橋第二工場の閉鎖(新城工場へ移設)
2020	BCP 委員会設置、中小企業庁「事業継続力強化計画」の企業認定取得

5. CSRに関わる当社の所属団体

国連グローバルコンパクト



Sedex



ACE



Responsible Mica Initiative



EcoVadis



6. CSR 取り組み

ヤマグチマイカは、以下に示す国連グローバル・コンパクトの4分野10原則に賛同します。

人権	原則 1 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則 2 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働	原則 3 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則 4 あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則 5 児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則 6 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	原則 7 企業は環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則 8 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則 9 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	原則 10 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

ヤマグチマイカは、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて、企業活動において具体的な取り組みを考え、実行します。



6-1 企業統治

【2020 年度実績】

■ CSR 委員会活動

・CSRと事業活動を関連付けして具体的な社内業務に落とし込むため、隔月で CSR 委員会を開催し、以下の内容について議論し進捗管理を行った。

「原料調達」、「環境」、「BCP」、「働きがい」、「心と体のケア」、
「市場や顧客の CSR 要求」、「安全衛生」など

・CSR 委員会メンバーは以下の通り。

代表取締役、CSR 担当取締役 (CSR 委員長)、営業技術担当次長、総務経理課長、
購買課長、安全衛生委員長

■ 2020 年 6 月に社内外に 2019 年度 CSR レポートを公開。ホームページにも掲載。

■ 2020 年 9 月に会社方針発表会にて、CSR 担当取締役より従業員へ当社 CSR 活動報告。
また、各部署の活動が SDGs に繋がっていることを説明。

■ 毎月の経営会議、職制会議にて、CSR 担当取締役より当社 CSR 活動報告。

■ 地震、風水害、火災、疫病を対象とした BCP 策定のため、隔月で BCP 委員会を開催して、
以下の災害対策を進めてきた。

「災害対応マニュアルの作成」、「備蓄品の用意」、「避難訓練の実施」、
「安否確認システム訓練の実施」

【2021 年度予定】

CSR 委員会活動の継続。

社内外への CSR 活動報告、SDGs への貢献について説明の継続。

BCP 委員会活動の継続。



6-2 人権

【2020 年度実績】

■ 2020 年 3 月から、インドの原料サプライヤー 1 社の第三者機関による労働環境監査を開始。
ただしコロナウイルスの影響により、監査スケジュールが 1 年以上延期されている状態であり、
完了時期は未定。

■ インドの原料採掘地域の児童労働撲滅を目指す国際 NGO 団体「Responsible Mica Initiative(RMI)」
に加盟しており、現地の情報収集とともに、当団体を通じた該当地域の児童労働の撲滅への協力を
継続。本年度は、当社の調達先のうち、当 NGO に未加盟のインドの原料サプライヤーに対して
参加を勧誘した(5 社のうち 4 社が加盟予定)。

【2021 年度予定】

延期されている第三者機関による監査の完了。

コロナウイルスの収束後、インドの原料サプライヤー 3 社に対して、当社による監査の実施。

NGO 団体「Responsible Mica Initiative(RMI)」の活動を通じた児童労働撲滅への協力を継続。



6-3 労働慣行

【2020 年度実績】

- 2020 年 10 月、働きがいの向上のための新しい人事評価制度および昇給昇格制度を運用開始。また制度変更にもない、新制度に沿った考課者訓練、被考課者訓練を実施。
- 「製造現場の暑さ、寒さ対策」、「製造現場の腰痛対策」のアイデアを安全衛生委員会にて考え、導入時の効果をデモ機などで確認した。一部のアイデアは、労使間の話し合いにより導入された。
- 「製造現場の作業負担軽減」について、従業員からの改善提案を募り、改善提案委員会、工程変更委員会を経て、トライアルによる効果確認および他への影響評価を行い、いくつかの提案を具体化した。大きな効果があった改善提案に対して、社内表彰をした。
- 2021 年 3 月、全従業員に対して外部機関によるオンラインのストレスチェックを実施し、外部機関から個別に結果をフィードバックがなされた。
- コロナウイルスによる行動制限の対応として、オンラインミーティング(Teams)の導入、リモートワーク(在宅勤務)用に環境整備を実施。

【2021 年度予定】

- 働きがいの向上のための新しい人事評価制度および昇給昇格制度の運用フォローの継続。
- 製造現場の暑さ対策の推進。
- 社外ツールを利用した定期的なストレスチェックの実施。



6-4 環境

【2020 年度実績】

- 電気・ガス使用による CO2 排出量を把握し、3 工場のトータルで、年間約 1500 トンであった。需要の増減で毎年の生産数量が変わり、CO2 排出量も数字が大きく変化するため、数値目標をどうするか現在検討中。

【2021 年度予定】

- 次決算期(2021 年 10 月-2022 年 9 月)の CO2 総排出量、および生産 kg あたりの CO2 排出量の数値目標を設定し、具体的な目標達成の方法を考える。
- 電気・ガス・水道の使用量削減、廃棄物の削減を重点テーマに位置づけ、従業員からの改善提案を募る。



6-5 公正な事業慣行

【2020 年度実績】

- 2021 年 3 月、全従業員に対してハラスメントアンケートを実施し、その結果からハラスメントに対する社内の意識改革を促した。さらに代表取締役による「ハラスメント防止宣言」、ハラスメント防止規程の改定により、会社がハラスメント防止に全力を上げて取り組む方針を示した。
- 従業員が社内で法令違反行為、倫理上問題のある行為、規程違反等コンプライアンス上問題のある行為を発見した際の是正、解決を図るための内部通報規程を定めた。

【2021 年度予定】

- ハラスメントアンケートの定期的な実施と、社内フィードバック。
- 機密情報管理規程を、現在に則した形に改定する。
- 女性が活躍できる職場づくりの促進。



6-6 消費者課題

【2020 年度実績】

- 海洋汚染の一因とされている化粧品用マイクロプラスチックビーズの代替材料の開発と提案。
- 金属酸化物被覆粉体(商標登録名 ADMOLITE)の生産技術の確立。
- 2019 年度に定めたインドのマイカ原料の調達に関する3ヵ年計画「2019-2022 原料調達方針」の達成に向けた原料発注、在庫管理を進めた。しかし、コロナウイルスの影響により、インド国内のロックダウン、世界的な海上輸送の混乱などが発生し、当初の計画通りに原料が調達できなかった。

【2021 年度予定】

- 粉体加工を中心とした、顧客ニーズを満たす製品開発の継続。
- コロナウイルスの影響を考慮して、「2019-2022 原料調達方針」を修正する。ただし、2022 年の最終目標は維持する。



6-7 コミュニティ参画・開発

【2020 年度実績】

- Responsible Business Alliance(RBA) 関連団体との情報交換
 - ・Responsible Minerals Initiative (RMI)によるマイカの報告テンプレートの運用開始にあたり、マイカ業界やインドの状況などの事前ヒアリングに協力。
- 人権・環境団体
 - ・国連グローバル・コンパクト、NGO「Responsible Mica Initiative」、NGO「ACE」の参加や交流、活動を継続。
- CSR プラットフォーム
 - ・「Sedex」、「EcoVadis」の登録継続、情報開示。
- 学術団体、産業団体
 - ・「日本化粧品技術者会」、「化粧品原料協会」、「フィラー研究会」、「食品接触材料安全センター(ポリオレフィン等衛生協議会の承継機関)」などへの参加継続。
- ウェブサイト
 - ・日本語版、英語版ホームページで、当社の CSR 活動をアピール。

【2021 年度予定】

- 地域社会、人権・環境団体、産業・学術団体への参加を継続。

- CSRプラットフォームやホームページでのCSR情報開示の継続。
- Responsible Minerals Initiative (RMI)によるマイカ調査テンプレートへの対応。



7. 当社の CSR 情報について

ヤマグチマイカは、CSRレポートを毎年更新して、当社ウェブサイトで公開します。
また、当レポートに関するお問い合わせは、下記担当者までご連絡ください。

部署	株式会社ヤマグチマイカ 企画部
担当者	CSR 担当 伊藤または西田
メールアドレス	csr@ymsc.co.jp
TEL	0533-72-2188
FAX	0533-72-5157